

木製のげた箱を前に笑顔を見せる生徒



木製げた箱 玄関口明るく

蘇南高

蘇南高校に、生徒・来客用の新しいげた箱が調えられ、15日に使用が始まった。古いスチール製だったげた箱が、ぬくもりを感じさせる木製に変わった。同校総合学科の設置10周年に合わせ、同窓会などでつくる記念事業実行委員会が寄付を集め、約320万円で設置した。げた箱は計360人分の靴を入れられる。扉にヒノキ材を

総合学科10周年記念で

使っていて、2年生の大山華穂さん(16)は「香りがいい」と笑顔を見せた。小幡正樹校長は「天井と床が木製なので一体感が生まれた。明るい雰囲気になった」と感謝した。記念事業実行委員長で同窓会長の樋口信雄さん(69)は「皆さんの寄付のおかげ。生徒がますます学業に励んでもらえたら」と話した。20日に総合学科設置10周年の記念式典が同校で開かれる。(高石雅也)